

教団新報

定 価 1 部 140 円 (本 体 133 円 千 共 200 円)
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,000 円
紙 代 の み 3,500 円
振 替 00140 - 9 - 145275
本 紙 を 購 読 ご 希 望 の 方 は、前 金 を
そ へ て、お 近 く の キ リ ス ト 教 書 店
へ お 申 し 込 み 下 さ い。
教 会 の 購 読 料 は 負 担 金 に 含 み ま す。

発行所 日 本 基 督 教 団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
FAX 03(3207)3918
E-mail:shimpoh-c@uccj.org
発行人 竹 前 昇
編集主筆 竹 澤 知 代 志
印刷所 株式会社きかんし



真剣に学科試験問題に向かい合う (東京会場)

春季教師検定試験

110名の受験志願者数に感謝

二〇〇六年春季教師検定試験は、二月二八日～三月二日、東京・京都の両会場で行われた。今回の受験者総数は一一〇名、内訳は補教師九二名 (Aコース三九名、Bコース二九名、Cコース二四名)、正教師一五名、転入・復帰三名であった。

試験直後に行われた委員会での学科試験の判定によると、補教師試験では受験した九二名の内、合格者は五六名、保留者一五名、不合格者五名であった。Cコース受験者は二四名の内一六名が継続となった。正教師試験では受験者一五名の内、四名が合格、八名が保留、三名が不合格となった。

ポートが課され、後日、再判定することになった。また転入志願者二名、教師復帰者一名について審査し、補教師転入一名、正教師転入一名を常議員会に推薦、教師復帰については保留とすることとした。

今回、補教師試験の不合格者は少ないが、保留者はなお多く見られる。特に憲教規・宗教法人法に関しては、ほとんどの者が合格点ぎりぎりの点数であった。それは、この試験では単に教会実務だけではなく、そこに表された教団の教会や教師についての理解が求められるのであるが、理解が不十分であるために問題の意図を正しく受け止めることが出来ていない解

答が多かったからである。日本基督教団の教師となるのであるから、きちんと学んで備えて欲しい。正教師試験の再試験の結果は、大変残念なものであった。今回の出題も基本的な理解を問うものであった。教師として宣教の場に遭わされてみ言葉を宣べ伝えていく上で、聖書及び教会史や組織神学などに対する基本的な理解と神学的思考が欠かせないことは言うまでもない。ただ受験のために準備するだけでなく、今後も学びを継続し、研鑽を深めていくことが望まれる。

学科試験後の個人面接に先立ち、両会場で全体会を行った。まず菅原力委員長が挨拶した。その中で、今回の試験後の委員会では、いくつかの課題が指摘され、話し合った。特に全体として「釈義」が弱くなっている点を重く受け止めた。これは今回だけでなく、前回の試験であることが確認された。また、二種教職制については現在そのための委員会が設けられて検討が進められていること、試験会場の一本化については今秋の試験を大阪、来春は東京という形で実施されること

が報告された。受験者からは、試験会場が一本化された場合の交通費の補助についての質問が出された。それに対して、従来の補助をふまえて検討しつつ実施していくことが事務局より回答された。

試験後の委員会では、いくつかの課題が指摘され、話し合った。特に全体として「釈義」が弱くなっている点を重く受け止めた。これは今回だけでなく、前回の試験であることが確認された。また、二種教職制については現在そのための委員会が設けられて検討が進められていること、試験会場の一本化については今秋の試験を大阪、来春は東京という形で実施されること

「聖書から聴く」姿勢を



オリエンテーション (京都会場)

2006 年春季・補教師検定試験問題

憲教規および諸規則・宗教法人法 (60 分)
(A・B・CⅢコース)

次の 2 題に答えてください。

- 「憲教規および諸規則」において、教師は「正教師・補教師」、「牧師・伝道師」、また、「主任者たる教会担任教師・教会担任教師」などの名称で呼ばれていますが、これら三種類の呼称の意味の違いを説明してください。
- 「宗教法人法」の目的を、信教の自由との関わりから述べてください。

旧約聖書神学 (60 分) (B・CⅢコース)

次の 2 題に答えてください。

- キリスト教会にとって旧約聖書がなぜ必要か、いくつかの理由をあげて述べてください。
- 旧約聖書の人間観について、テキストをあげて述べてください。

新約聖書神学 (60 分) (B・CⅢコース)

次の 3 題のうちから 2 題を選んで答えてください。

- 共観福音書における「受難予告」について述べてください。
- ヨハネによる福音書における「聖霊」について述べてください。
- パウロの「律法」理解について述べてください。

講 評

教師検定委員長
菅 原 力

第 34 総会期春季教師検定試験が実施されました。今回の試験も一一〇名という多くの受験者が与えられました。このことをまず、神に感謝するものです。

試験の結果は報告にあるとおりです。受験者一人ひとりがこの結果をこれからの歩みの中で真摯に受けとめてほしいと願っています。御言葉に仕える者として

秋季の検定試験のための「聖書から聴く」という姿勢を確かなものにしていて欲しい。

今回の受験者の中に複数の障がいのある方がおり、パソコンを用いての別室受験、別室での口述試験となった。様々なケースがあるが、今後も出来るだけの対応をしていきたい。

たてられていくことをさらに深く自覚し、聖書に固着して聞き続けていく姿勢を形成してほしいと思います。そして神の業に存分にお仕えしていくために、いよいよこれから謙遜に学び続けてほしいと願うものです。

二〇〇六年秋季の検定試験から試験会場を一本化し、秋は大阪で、春は東京で実施することになりま



与えられたことに感謝する。受験された一人ひとりが今後も主の召しに応え、良い働きをされるよう、委員会として祈るものである。(小堀康彦報)

▼幼稚園から大学まで、残念ながら優等生だったためしはない。三〇代も終わる頃、最後と思って通った自動車学校でも、二度三度と試験に落ちた。優等生にはななかったが、模範生ではあった。遅刻なし、予習復習怠らず、授業は常に最前列で聴いた。事故防止のビデオまでも真面目に観た。▼ハンドルを握ると目が冴える。多少の眠気は吹き飛ばす。未だに運転は非日常のことで、自然なことではないのだ。何時まで経っても初心者だ。多分そのおかげで無事故、違反切符を切られたことは一度もない。違反する程運転に慣れていないのだ。▼今春も多くの人が教師として果立つ(？)、厳しい現況を見れば、無事故無違反だけでは務まらないだろう。運転も伝道牧会も応用問題の連続、決断も無理も必要な局面があるだろう。▼だからこそ、名人・達人になることよりも、基本に忠実であること、規則を遵守すること、マナーを重んじ、相手には譲ること。慣れなければプロにはなれない。しかし、慣れが一番怖い。運転も伝道も上手ではない先輩からのよけいなお世話か。

「ユースミッション2006」開催へ 第4回教育委員会・教区教育担当者会



アイヌ奨学金キリスト教協力会代表者 齊藤成二氏（右側）に2004年度クリスマス献金をお渡しする岸憲秀教育委員長（2006.2.7）

キリスト教
教育主事
五名誕生

第34総会期第四回教育委員会が二月七日、八日教団会議室で全委員が出席して

主な報告と協議事項は、
①委員会直前まで行われていた「教区担当者会」の反省と課題の確認。
②三月七日実施予定のキリスト教教育主事認定試験に関する件。五名の志願者の受験を承認し、論文審査、面接等のスケジュールを確認した。キリスト教教育主事養成機関でもある聖和大学より認定試験後に懇談の申し入れがあった。
③「ユースミッション2006」に関する件。教育委員会が呼びかけ二〇〇六年一月三十一日に行方委員会が組織された経緯が報告された。八月三日からの日程等の話し合いがなされ、次回実行委員会に教育委員会案として提出することを決定した（下記に主な日程）。

なお真壁慶委員を執行委員として選任し岸憲秀委員長と共に派遣することが承認された。
④「教師の友」編集委員会、全国幼稚園連絡会等の報告を受けた。
⑤次回教育委員会の日程を六月二日、二三日と決定した。
（加藤誠報）

多様化する教会教育

第34総会期教育委員会主催の教区担当者会が二月六日、七日の両日教団会議室で開催された。
主題は「多様化する教会教育」。一六教区から参加者が与えられた。
山北宣久教団総会議長に

が「子どもへの宣教の取り組み」について
兵庫教区からは原真和氏が「キリスト教教育主事の働き」について発題した。質疑応答と夕食休憩後、各教区における教会教育の現状報告が提出された資料にもとづいて行われた。二日目は前日に続いて教区の報告を受け、その後全

体協議を行った。
各教区における教会教育現場での課題を共有すると共に、教区の個性とも言えるさまざまな活動に触れ、良い刺激が与えられた「教

区担当者会」であった。以前は公開教育セミナーとセツトで開催されていたが、前回から単独での開催となった。
（加藤誠報）



「多様化する教会教育」の主題で教区担当者会開催

◎次回委員会では森本あんり氏に「憲法改正の動きと靖国神社問題―宗教の自由をめぐる―」をお願いすることとなった。
委員会では二日目に靖国神社周辺フィールドワークとして、靖国神社、遊就館、千鳥ヶ淵を巡った。遊就館販売店で扶桑社の「新しい歴史教科書」「新しい公民教科書」が販売されているのに、あらためて双方の密接なつながりを見た。
（村田元報）



宣教研究所発足当時の理念について話し合う

二月二・二三の両日、第34総会期の第三回宣教研究所委員会が教団会議室において開催された。
今回の委員会の主な内容は、①「教憲教規」及び「教団年鑑」の保守について、②「万博・東神大・教師検定試験問題年表」の改訂について、③宣教研究所発足当時の理念について、④聖餐問題についてである。

①については、「教団新報」や「宣研だより」などで寄付のお願いをしたが、依然として傷みが激しいものが多数ある。そこで、コ

ピー製本をすることによって資料として整理保存することとした。
②については、万博、東神大、教師検定、それぞれについて、改訂の検討が必要であることが確認された。まず、東神大に関しての改訂を進め、宣研の下に「年表（東神大）改訂に関する研究会」を設置し、担当責任者として山口隆康委員を委嘱した。次回委員会までに同氏より研究員の候補を挙げてもらうこととした。
③については、前回、加藤幹夫委員より「宣研発足

当時の理念について」の発題があり、今回、さらにこの記述が「日本基督教団史資料集第4巻」において十分な記述がされていないこと、資料に関しての解釈にかなり偏った解説が記載されていること、それが当時の宣研の理念や理解から逆行するものであることが指摘された。
さらに山口委員より法制史から見ても不十分な記述であるという意見も出された。そこで、教団史資料集第4巻の「宣教研究所の設置とその活動」の項目について、冊子にして改訂増補する方向で検討することになった。

④については、今日、教団の会議において聖餐の問題（補教師による執行・未

北海教区からの質問に回答

第三回靖国・天皇制問題小委員会

去る二月二日から三日にかけて教団会議室において第三回委員会が開催された。
◎諸報告においてNCC靖国委員会より「靖国神社と国立追悼施設」に関するパンフレットを四ヶ国語に翻訳中との報告があった。
◎北海教区靖国神社問題特別委員会よりの「靖国・天皇制問題小委員会の活動

について質問」について協議した。
質問の趣旨は、当委員会が「小泉純一郎首相が意図している靖国神社参拝を阻止するなど、現実の課題に正対して取り組む直接活動」をせず、具体的活動から離れた議論（信仰告白共同体としての教団の形成に寄与する働きを目指す）をしているだけではないのか「教団

の委員会として各教区の関連委員会に対して、この運動の方向性を打ち出し、的確な情報を発信し、運動を組織することをしないといけないのなぜか」というものであった。
協議において、当委員会が方向性や情報の発信、小泉首相の靖国神社参拝反対声明などは出しているが、いわゆる各教区への活動の呼びかけをしたり、運動を組織するような活動委員会ではないことが確認された。この協議を受けて、委員長が北海教区靖国神社委員に返信することとした。



武田利邦氏（正面中央）による発題

按手礼時の議事運営で議論

中越地震被災教会を覚え献金

川 奈 会
教 区 総 会

第一五回神奈川教区総会が、二月三日、清水ヶ丘教会を会場に行われた。藤掛順一氏の司式により開会礼拝が行われた後、正議

手礼志願者に対する質疑に、正教師の按手礼執行に

方を選つての討議となつてしまひ、議事進行に関する

屋の休憩に入る前に、中越地震被災教会を覚えてカ

この予算の新科目として「伝道奨励準備金」が設け

関係する議案であり、それぞ

教会を訪問した報告が、辻中昭一センター活動委員

二月六日、逝去。八五歳。米國、ロサンゼルスに生ま

就(担)平本善一
就(担)野田 沢

十九の二(主)丹羽和子
教会加入
富士吉田(第一種)

「全国会議」開催一先ず凍結

第三回部落解放センター運営委員会



高柳竜二議長の司式で按手礼執行

志願者の背後にある教会の祈り願ひ喜びを裏切らないでほしい。これに賛同し

第34総会期第三回部落解放センター運営委員会が教

一常任運営委員会にて岩橋常久活動委員を委員長代行

ついて報告がなされた。またセンターでは、インド洋

二月に機関紙「解放へのはばたき」と一緒に「第10

正教師登録
飯島隆輔(二〇〇五・

十二使徒
就(主)松本章宏

大和榛原 宇陀市榛原区
萩原一二五
鹿島栄光

九州 奄美伝道五〇年から 問われること

西畑 望

今年九州教区は奄美伝道五〇年を憶えていくつかのプログラムを計画している。一九五三年クリス

教区 コラム

し教団は政治のシステムに追隨する形で伝道を開始したのである。多くの苦悩を抱えながら教会形

私はこの伝統的な正統的な伝道姿勢について、あらためて考えさせられてい

「同宗連」の現状報告を受ける



「同宗連」の現状報告を受ける

教会を訪問した報告が、辻中昭一センター活動委員

二月六日、逝去。八五歳。米國、ロサンゼルスに生ま

就(担)平本善一
就(担)野田 沢

十九の二(主)丹羽和子
教会加入
富士吉田(第一種)

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

伝道のともしび

今、地方教会の時代

長門教会牧師 稲垣 裕一

今春、山陰地方と東京を走り続けた。特急寝台列車が廃止された。私の街でも、昨年、唯一の特急列車が廃止になってる。今、地方の過疎化が進んでいる。半世紀後に、教団の教会は地方にどれだけの数が残っているだろうか。地方教会の牧師たちは、緊張感をもちながら伝道している。

家族と一緒にだった。教会は待っていた。教会員の宿の提供のお申し出を丁寧に断りし、ひなびた温泉宿に泊まった。夜中、ふと目が覚め窓辺に立つと、山のような島影を背景に、湾に明るく月影が浮かんでいた。妻と、任地のことで語り合ったことを覚えている。封建的な風土の山陰地方で伝道することは難しいと言われるが、教会を守り信仰に生きることが難しい。教会には苦勞を重ねて来た人たちが残っていた。新築の小さな牧師館が用意され、三人家族が住むには充分。驚いたが、私も牧師館建築の際に献金をして

私は、ここに来て、気がいが取れたような気がする。陰口愛好会もないことはないが、全体的に話し合いながら進んでいる。主にお任せすることが大事だからだ。長門教会は、山陰西分区の四教会の交流の中で励まされ、西中国教区の教職謝儀互助に支えられている。長い無牧の期間を経験しても立ち続けているのだ。

妻の誕生日だった。保育園料の足しにと妻が早朝のアルバイトをして病院に運ばれ、緊急手術を受けた。過労だった。奉仕を捧げるままにさせておいた私の責任だった。しかしその後、役員の方が呼びかけ会堂掃除の奉仕が始まった。うちの教会はよく笑う。先日、能和弘幸さん(小樽聖十字教会)小栗昭夫(牧師)が客員になったと喜び祝った。教会は単身赴任の受け皿となる経験をした。主の恵は不思議で、年に一人ずつ受洗者か転入者が与えられている。現在は二十四人。祝福されている。

隣で息子が、うさぎ形に剥かれた林檎を見て「ホタル、ホタル」とはしゃいでいる。毎年六月、長門地方は宙の絨毯で覆われる。キリストの光が覆っているかのよう。家族も四人になった。

「あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ」(マタイ六章二節)。田舎に都会の豪華さはないが、都会にないものがあるし、富に変えられないものがあるだろう。私はみ旨と信じ、妻と祈りながら長門教会に赴任した。

地方教会の課題の一つは、牧師がどれだけ長く留まれるかどうか。牧師は、教会を愛し街を愛する。田舎の近い人間関係の中で

あ教会にいとこの教会にいとこのことは、信徒が教会に行き続けることと同様に大きな意味がある。そして、主日礼拝を守り、定期集會に出席し、教会のつながりも強くされていく。高齢の方の所には訪問する。教会の足腰を鍛えられることを願って止まない。

条件は、伝道すること当時の半分の謝儀。退職金はない。教会員は一八人。平均年齢は六〇代で給与所得者は二名である。伝道者は遣わされた地へ行くが、家族に苦勞をかけることは目に見える。「大丈夫。飢え死にはしないから」私の授洗者である大澤務牧師が開拓伝道に赴く時に、そう励まされたと聞く。

神様は意地悪だ。私が迷っていると、いつも何か意味ありげな言葉を出させる。初任地の高原教会に赴く時もそうだった。お見合い説教に出掛けたのは、

分区で集うと、すぐ笑顔になります。



山陰西分区研修会 於:長門教会

全国教会幼稚園連絡会が自主活動団体に

以前より申請が出ていた全国教会幼稚園連絡会(全教幼)の自主活動団体認定が、一月七日八日開催の宣教委員会承認された。前総会期からの継続審議であったが、慎重な審議の末、今日に至った。

また、全教幼は二月一四―一五日に教区連絡会と総会とを行ったが、その席上に岩崎隆宣教委員長が訪れ、直接、認定を報告し、認定証を授与した。

お知らせ

★日本基督教団年鑑二〇〇六年版の追録を発行いたしました。

教団年鑑二〇〇六年版において、ミスが多少あったことについてお詫び申し上げます。そこで当年鑑の正誤表を内容とする追録を、年鑑をご購入された方々に差し上げます。年鑑を購入された書店、もしくは教団事務局総務部年鑑係(☎03-3202-1054)に直接お申し込みください。

なお、統計一覧の一部訂正が追録から漏れてしまいましたので、ここに記します。

◆神奈川教区経常収入計二〇、二五五、九九九。同平均二〇、二五一。

▼全国経常収入計二二、九〇二、〇〇八。同平均二七、八三四。



古平光市さん

骨太信仰者ここにあり



1942 年生まれ。記章職人、キリスト・メダル・センター代表、浅草教会員。

記章職人と言って何の仕事か解る人は少ないかもしれない。バジ職人の方がよく解るだろう。記章の蟬付け職人だった父の縁で、記章屋で修行することになった。生まれた時からバジとの付き合いがあった。

教会との出会いも小さい時から。自宅の前が浅草教会だった。教会付属小百合幼稚園に入園。そのまま日曜学校の生徒として成長。中学生時代「日曜学校」ではなく「教会」を意識するようになった。自分の罪を誰が救うことができるのか。谷底へ落ちるような、そんな状態から自分を救ってくれるのはイエス様しかない。そんな気持ちで洗礼を受けた。しかし、赦して頂いても次から次へと罪を犯す自

分がいた。とても苦しかった。自分が罪人であると気付くのも洗礼の意味なのだと納得するまでにずいぶん時間が掛かったという。しかし、その間教会との関わりは密接になっていった。一九六六年、夫人の邦子さんと結婚。クリスチャンホームを形成した。

「ものづくり」信仰者として「何かできないか」との思いから「キリスト・メダル・センター」を設立。皆勤賞・精勤賞のバジやメダルを手懸けるようになる。生まれた時から身近だった職と信仰。それが自然に自分の中で結びついていった。もちろん順調なことばかりではない。御用のある方もあらね」と言い訳を言う。

毎週水曜日は聖書研究・祈祷会が開かれる。夜七時半からであり、この時間に出席するのは困難な方が多い。おのずと出席者が少ない。開会五分前、連れ合いと共に開会を待っている。この時点ではまだ出席者がなかった。もしかしたら、どなたも来られないかな、ふとそんな思いがよぎる。

昔、地方の教会で牧会していたころ、やはり水曜日の集會が続けられていた。冬ともなると寒さがこたえる地方であり、いつもは四、五名の出席であるが、寒さの厳しいときは牧師夫婦二人の集會

し、宣教方策會議が三月六―七日に開催された。主題「二一世紀を迎えた教会の現状と展望のもとに、発題があり協議が重ねられた。統計的に減少を続ける日本基督教団であるが、各教会は祈りつつ宣教している。希望をもって明日の教会を担うことを示された。

「お客さん、来ないねえ」

ろ、決まって末の子がチョコチョコとやってくる。両親だけの集會をじっと見つめ、「今日は、お客さん、来ないねえ」と言うのであった。子どもなりに出席者を期待しているのである。「今日は寒い

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩